

## みずほマーケット・トピック(2023 年 8 月 4 日)

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

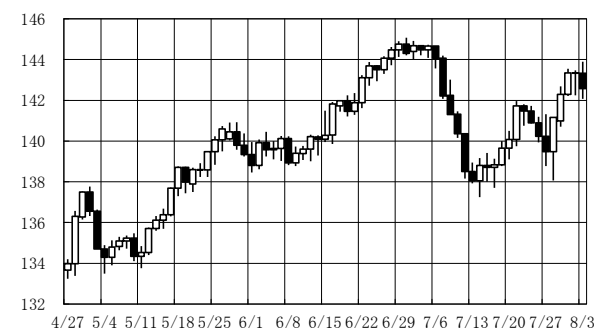
## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、日銀による金融緩和政策の継続期待の高まりを受け、円売りに押され上昇した。週初7月31日、140.75円でオープンしたドル/円は、日銀による臨時の国債買い入れオペの通知を受け、円売りが強まり141円台後半に上昇。海外時間は、円売り相場が継続する中、142円台に続伸した。8月1日、ドル/円は円売り相場が続き142円台後半に上昇。海外時間は、米金利上昇を背景に143円台半ばまで上値を追いかけた。2日、ドル/円は米大手格付機関が米長期債を格下げするとの報道を受け、ドル売りに押され142円台後半に下落。海外時間は、142円台前半に続落後、米7月ADP雇用統計の強い結果を受け、米金利上昇に合わせ143円台半ばに値を戻した。3日、ドル/円は米金利が上昇する中、日銀による臨時オペの実施通告も相まって、一時週高値となる143.89円に上昇。海外時間は、米7月ISM非製造業景気指数の弱い結果が材料視され142円付近に反落も、引けにかけては底堅い米金利動向を受け142円台半ばに値を戻した。本日のドル/円は、引き続き142円台半ばでの取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、米金利上昇を受け1.10を割り込んだ。週初31日、1.1024でオープンしたユーロ/ドルはユーロ圏の堅調な経済指標を受け上昇も、その後の独金利低下に合わせ1.10付近に下落。1日、ユーロ/ドルは、軟調な欧州株が重石となる中、1.09台後半でじり安推移となった。2日、ユーロ/ドルは米国債の格付引き下げを受け、ドル売りが強まる中で1.10台を回復も、堅調な米経済指標を受けた米金利動向に合わせ1.09台前半に反落した。3日、ユーロ/ドルはユーロ圏6月生産者物価指数の鈍化が材料視され、独金利低下に合わせ一時週安値となる1.0913に下落。その後は、独金利の反転や、軟調な米経済指標が材料視される中、1.09台半ばに値を戻した。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.09台半ばでの取引となっている。

## 今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |  |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
|              |          | 7/28(Fri) | 7/31(Mon) | 8/1(Tue)  | 8/2(Wed)  | 8/3(Thu)  |  |
| ドル/円         | 東京9:00   | 138.88    | 140.75    | 142.35    | 142.98    | 143.35    |  |
|              | High     | 141.20    | 142.70    | 143.54    | 143.46    | 143.89    |  |
|              | Low      | 138.05    | 140.69    | 142.22    | 142.24    | 142.07    |  |
|              | NY 17:00 | 141.18    | 142.27    | 143.34    | 143.35    | 142.52    |  |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.0980    | 1.1024    | 1.0998    | 1.1008    | 1.0941    |  |
|              | High     | 1.1047    | 1.1046    | 1.1002    | 1.1020    | 1.0962    |  |
|              | Low      | 1.0944    | 1.0994    | 1.0952    | 1.0917    | 1.0913    |  |
|              | NY 17:00 | 1.1015    | 1.0997    | 1.0985    | 1.0939    | 1.0950    |  |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 152.40    | 155.20    | 156.54    | 157.37    | 156.90    |  |
|              | High     | 155.60    | 157.26    | 157.47    | 157.50    | 157.23    |  |
|              | Low      | 151.47    | 155.12    | 156.49    | 156.26    | 155.55    |  |
|              | NY 17:00 | 155.55    | 156.47    | 157.46    | 156.81    | 156.06    |  |
| 日経平均株価       |          | 32,759.23 | 33,172.22 | 33,476.58 | 32,707.69 | 32,159.28 |  |
| TOPIX        |          | 2,290.61  | 2,322.56  | 2,337.36  | 2,301.76  | 2,268.35  |  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 35,459.29 | 35,559.53 | 35,630.68 | 35,282.52 | 35,215.89 |  |
| NASDAQ       |          | 14,316.66 | 14,346.02 | 14,283.91 | 13,973.45 | 13,959.72 |  |
| 日本10年債       |          | 0.54%     | 0.60%     | 0.59%     | 0.62%     | 0.65%     |  |
| 米国10年債       |          | 3.96%     | 3.97%     | 4.04%     | 4.09%     | 4.18%     |  |
| 原油価格(WTI)    |          | 80.58     | 81.80     | 81.37     | 79.49     | 81.55     |  |
| 金(NY)        |          | 1,960.40  | 2,009.20  | 1,978.80  | 1,975.00  | 1,968.80  |  |

## ドル/円相場の動向



## ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 米国では、10日(木)に7月消費者物価指数(CPI)が公表予定となっている。前回6月の結果は+3.0% (前年比、以下同様)と5月の+4.0%から伸びが大きく鈍化し、2021年3月以来の低水準となった。また、食料品とエネルギー価格を除いたコアベースでも+4.8%と5月の+5.3%から鈍化した。なお、いずれも事前の市場予想を下回る結果だった。供給制約緩和や需要減退が続く中、非コアではエネルギー価格の下落幅が大きく拡大。また、コア財価格、コアサービス価格に関しても着実な鈍化が確認された。特に、FRBが重視する住宅を除いたコアサービス価格は、ブルームバーグの試算によれば+4.0%と5月の+4.6%から大きく鈍化し、2021年12月以来の低水準に落ち着いた。7月FOMCにおいてパウエルFRB議長は、6月CPIを「歓迎すべき結果」と評価したものの、単月の結果で判断することはないと釘を刺しただけに、9月会合を前にあと2回の公表を控えるCPIには注目が集まる。なお、7月の結果に関しブルームバーグの事前予想では、総合ベースで+3.3%、コアベースで+4.8%と見込んでいる。
- 本邦では、8日(火)に6月毎月勤労統計が公表予定。前回5月の結果(確報)に関し、現金給与総額(名目賃金、前年比)は+2.9%と17か月連続で増加を記録、4月の+0.8%から伸びが拡大した。2023年の春闘では大幅な賃上げが実現し、その効果が徐々にだが表れていると評価できる。賃上げのタイミングは企業によってばらつきがあるため、今後数か月は増勢を継続する見込みだ。一方で、実質賃金に目を移せば、5月には▲0.9%と14か月連続で減少を記録したものの、4月の▲3.2%からは減少幅を縮小させた。賃金上昇は続いているものの、物価上昇には追いついていないのが実情であり、国民の暮らし向きは苦しい状態が続いている。日銀は「賃金上昇を伴う形で」物価安定目標達成を志向しており、今後の賃金情勢には注意を払いたい。なお、ブルームバーグの事前予想では、6月の結果に関し、名目賃金+3.1%、実質賃金を▲0.6%と見込んでいる。

|         | 本 邦                                                                                                 | 海 外                                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8月4日(金) | ――                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独6月製造業受注</li> <li>・ユーロ圏6月小売売上高</li> <li>・米7月雇用統計</li> </ul>           |
| 7日(月)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日銀金融政策決定会合 主な意見(7月会合分)</li> <li>・6月景気動向指数(速報)</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独6月鉱工業生産</li> <li>・ユーロ圏8月センチックス投資家信頼感</li> </ul>                      |
| 8日(火)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月毎月勤労統計</li> <li>・6月国際収支</li> <li>・7月景気ウォッチャー調査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独7月消費者物価指数(確報)</li> <li>・米7月NFIB中小企業楽観視数</li> <li>・米6月貿易収支</li> </ul> |
| 9日(水)   | ・7月工作機械受注(速報)                                                                                       | ――                                                                                                            |
| 10日(木)  | ・7月国内企業物価指数                                                                                         | ・米7月消費者物価指数                                                                                                   |
| 11日(金)  | ――                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・米7月生産者物価指数</li> <li>・米8月ミシガン大学消費者マインド(速報)</li> </ul>                  |

## 【当面の主要行事日程(2023年8月～)】

ジャクソンホール経済シンポジウム(8月24～26日)  
 ECB政策理事会(9月14日、10月26日、12月14日)  
 FOMC(9月19～20日、10月31日～11月1日、12月12～13日)  
 日銀金融政策決定会合(9月21～22日、10月30～31日、12月18～19日)

金融市場部  
 チーフマーケット・エコノミスト  
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)  
[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html)

| 発行年月日      | 過去6か月のタイトル                                   |
|------------|----------------------------------------------|
| 2023年8月2日  | ユーロ圏経済の近況～経済・物価情勢はECB/ハト派化を示唆～               |
| 2023年7月31日 | 日銀会合を終えて～今後の課題は「円売りによる挑発」～                   |
| 2023年7月28日 | 週末版 (ECB政策理事会を終えて～急速に薄らいだタカ派色～)              |
| 2023年7月27日 | FOMC (7月25～26日) を終えて～現状維持に備え～                |
| 2023年7月25日 | 日銀金融政策決定会合 (7月27～28日) プレビュー                  |
| 2023年7月21日 | 週末版 (正常化が近づくインバウンド需要～労働で稼いだ外貨はどこへ行くのか・・・)    |
| 2023年7月20日 | 23年上半期の貿易収支を受けて～構造変化を直視～                     |
| 2023年7月19日 | 残る円安・資源高の余波～物価「変化率」だけでなく「水準」も～               |
| 2023年7月18日 | ICEドリンデックスの100割れをどう読むべきか？                    |
| 2023年7月14日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2023年6月分)                 |
|            | 週末版                                          |
| 2023年7月13日 | 実効ベースで見た為替相場～最強「フラン」と最弱「円」～                  |
| 2023年7月12日 | 円高の読み方～自律反発後にどこまで戻るか～                        |
| 2023年7月11日 | 経常収支の正しい読み方～符号ではなくキャッシュフローを～                 |
| 2023年7月10日 | イノベーションボックス税制はBrain freezeの処方箋か              |
| 2023年7月7日  | 週末版 (金利差拡大で円安が進まない背景～日本株下落とポジションの偏り～)        |
| 2023年7月6日  | 「投機の円売り」と「夏枯れ相場」に進むキャリー取引～                   |
| 2023年7月5日  | ユーロ圏6月消費者物価指数～雇用・賃金情勢の逼迫～                    |
| 2023年7月3日  | シミュレーション進む「ドル抜きの世界」～COFERの近況～                |
| 2023年6月30日 | 週末版                                          |
| 2023年6月29日 | 金融政策と通貨政策、動くのはどっちが先か                         |
| 2023年6月27日 | 23年3月末時点の「資金循環統計」を受けて                        |
| 2023年6月26日 | 「2005～07年の円安バブル」と現在の違い                       |
| 2023年6月23日 | 週末版                                          |
| 2023年6月22日 | ECBは利上げ停止後に何をするつもりか                          |
| 2023年6月21日 | 「Brain freeze (思考停止)」と研究開発サービス赤字             |
| 2023年6月20日 | 「2030年までに対内直接投資残高100兆円」の現実味                  |
| 2023年6月19日 | 日本、「監視リスト」除外の読み方～国力低下の象徴～                    |
| 2023年6月16日 | 週末版 (ECB政策理事会を終えて～we're not at destination～) |
| 2023年6月15日 | FOMCを終えて～追い詰められる円高見通しと年内利下げ～                 |
|            | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2023年5月分)                 |
| 2023年6月14日 | 日銀はいつ動くのか～円安抑止策としてのYCC修正可否～                  |
| 2023年6月13日 | 家計金融資産の「開放」は何を意味するか～骨太の方針～                   |
| 2023年6月12日 | FRBは他国・他中銀から影響を受けるのか？                        |
| 2023年6月9日  | 週末版                                          |
| 2023年6月8日  | 本邦4月国際収支統計を受けて～「新しい赤字」の影～                    |
| 2023年6月7日  | ユーロ圏のインフレ期待について～6月会合プレビュー～                   |
| 2023年6月6日  | 「弱い円」への諦観は日本人を動かすか？                          |
| 2023年6月5日  | 米5月雇用統計を受けて～遅く遠く年内利下げ～                       |
| 2023年6月2日  | 週末版 (コアベースでも鈍化し始めたユーロ圏インフレ率～ハト派転化には十分と言えず～)  |
| 2023年6月1日  | FRB、6月利上げ見送りの受け止め方～円高到来か？～                   |
| 2023年5月30日 | ユーロ圏の賃金・物価情勢～賃金は峠、エネルギー環境は脆弱～                |
| 2023年5月26日 | 週末版 (32年連続世界最大の対外純資産国の意味～過去最高を記録した直接投資比率～)   |
| 2023年5月24日 | 構造的に薄れるPPPを見る意味～「成熟した債権国」と共に～                |
| 2023年5月23日 | 「世界中が欲しがる財・サービス」は「高値の花」～「弱い円」の価値～            |
| 2023年5月22日 | 資産価格が上がっているのか、円が下がっているのか                     |
| 2023年5月19日 | 週末版                                          |
| 2023年5月18日 | 1～3月期GDPを受けて～ベントアップ需要を阻む円安～                  |
| 2023年5月17日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2023年4月分)                 |
| 2023年5月16日 | 4月国内企業物価指数を受けて～変化率と水準の違い～                    |
| 2023年5月15日 | 新しい外貨流出源～デジタル・コンサル・研究開発～                     |
| 2023年5月12日 | 週末版 (米連邦債務上限問題について～政府機関閉鎖は一時的な円高材料に～)        |
| 2023年5月11日 | 3月国際収支統計を受けて～インバウンドの功罪～                      |
| 2023年5月9日  | ECB政策理事会を終えて～持続する利上げ路線～                      |
| 2023年5月8日  | FOMCを終えて～利上げ停止でも円安持続という現実～                   |
| 2023年5月2日  | 円相場の現在地～下がり続ける購買力、最強通貨はフランに～                 |
| 2023年5月1日  | 植田体制初会合のレビューと円相場への影響                         |
| 2023年4月28日 | 週末版                                          |
| 2023年4月26日 | ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理                       |
| 2023年4月25日 | 日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～                     |
| 2023年4月24日 | ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー                       |
| 2023年4月21日 | 週末版 (インバウンドの現状と展望～量・質ともに復調しつつあるインバウンド需要～)    |
| 2023年4月20日 | 本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～                       |
| 2023年4月18日 | EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～                         |
| 2023年4月17日 | GFSRも重要性を訴える地経学的な思考                          |
|            | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2023年3月分)                 |
| 2023年4月14日 | 週末版 (FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見直しへの影響はあるか？～)    |
| 2023年4月12日 | 変わる直接投資とスローバリゼーション (slowbalization)          |
| 2023年4月11日 | 植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意                       |
| 2023年4月10日 | 第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～                     |
| 2023年4月7日  | 週末版 (日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～)             |
| 2023年4月6日  | 次の危機はCRE危機か？～ECBの警鐘～                         |
| 2023年4月4日  | 日銀短観3月調査を受けて～深刻さ極まる人手不足～                     |
| 2023年4月3日  | ユーロ圏3月消費者物価指数 (HICP) の読み方                    |
| 2023年3月31日 | 週末版                                          |
| 2023年3月30日 | 第1四半期の総括と今後の展望～円高始まらず～                       |
| 2023年3月28日 | ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢                         |
| 2023年3月24日 | 週末版 (鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～)          |
| 2023年3月23日 | FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～                    |
| 2023年3月22日 | 年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～                       |
| 2023年3月17日 | 退路を断ったECB～自信の誇示を優先～                          |
|            | 週末版                                          |
| 2023年3月16日 | ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～                    |
| 2023年3月15日 | 企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～                        |
| 2023年3月14日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2023年2月分)                 |
|            | 先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～                     |
| 2023年3月13日 | SVB破綻、ドル/円相場見直しへの影響                          |
| 2023年3月10日 | 週末版 (1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～)             |
| 2023年3月8日  | 1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～                         |
| 2023年3月7日  | FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～                 |
| 2023年3月6日  | 日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望                      |
| 2023年3月3日  | 週末版 (賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～)  |
| 2023年2月28日 | ECBのバランスシート政策について～状況整理～                      |